

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

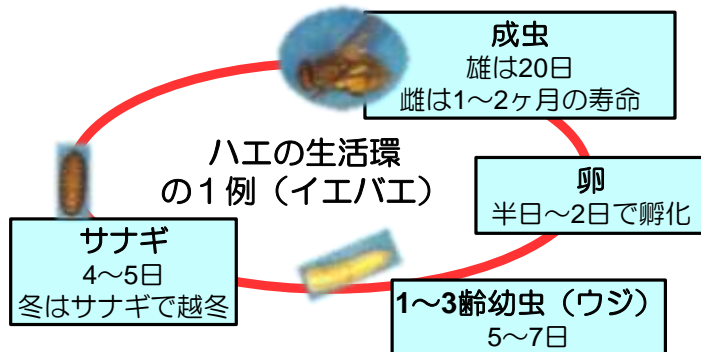
〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612

ハエ対策に取り組みましょう

ハエは家畜に対し不快感やストレスを与えるほか、疾病を伝播するなど衛生上の問題も引き起こします。ハエが大量発生すると、家畜の生産性が低下するだけでなく、家畜防疫の観点からも農場に不利益をもたらすためハエ防除は重要です。

ハエは繁殖力が強く、雌は1回100個程度の卵を一生のうちに4~6回ほど産卵します。環境温度によって成長の早さは異なり、早ければ10日程度で成虫になります。



日本防疫殺虫剤協会ホームページを参考に作成

ハエの発生は6月~7月にピークを迎え、8月に若干減少し、秋口に再び増加します。また、飼養衛生管理基準の改正で、ネズミ及び害虫駆除の項目が盛り込まれました。積極的にハエの防除対策を実施して、ハエの少ない農場にしましょう。

ハエ対策は「環境対策」が基本です。
「薬剤による殺虫」とバランス良く実施しましょう。

環境対策

○ハエは湿った糞や飼料に産卵します。早めに糞を取り除き堆肥舎で発酵等、適正に処理しましょう。また、食べ残した飼料は取り除き、飼槽からこぼれたものも、こまめに掃除しましょう。

○ハエの卵は適度に湿った場所に産卵し、乾燥した場所では死滅します。給水設備に水漏れがある場合は修理を行うとともに、畜舎の換気、通気を行いましょ。

○堆肥の処理は適切な水分調節と切り返しが重要です。良好な発酵処理で温度が40℃以上、水分50%以下の発酵条件で腐化率が激減します。全体的に発酵温度を上げるため1週間以内の間隔で切り返しを行うことが必要です。

薬剤による殺虫

○一般に幼虫は成虫の4倍存在すると言われます。薬剤を使用する場合は、幼虫対策から取り組み発生源を叩くとより効率的です。

○同じ種類の薬剤を長期間使用し続けるとハエが抵抗性を持ってきます。適宜異なる種類の薬剤に交換しましょう。

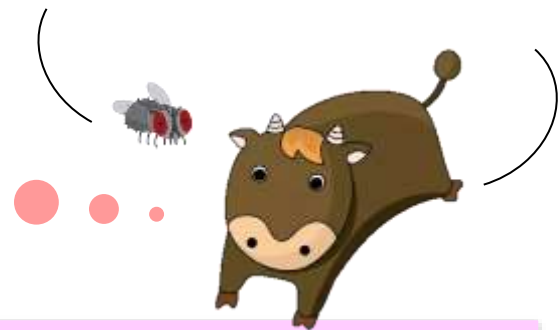
殺虫剤による主な防除方法

環境対策をしたうえで薬剤による殺虫対策を行うことが効果的です。殺虫対策を実施する場合は、幼虫対策から実施するとより効果的です。

殺虫剤には動物用医薬品もあり、取扱いに注意が必要です。添付文書をよく読み、定められた用法・用量を守って使用しましょう。

	薬剤	効果	場所
幼虫 (ウジ)	昆虫成長抑制剤 (IGR剤)	脱皮や蛹への変化を阻害し、死滅させ、成虫の発生を抑える	堆肥、堆肥回りの側溝と汚水溜り、バンクリーナー等 幼虫が発生していそうな場所を狙って散布
成虫	有機リン剤 (ペイント)	ハエの接触・経口・噴霧で殺虫効果 残効性がある	天井、壁、柱等。 板や段ボール、縄などに塗布して設置あるいは吊す
	ベイト剤 (クロロニコチル系、 ネオニコチノイド系等)	殺虫成分を含む餌で誘因・摂食させることで殺虫	床面(散布) 柱・壁面(塗布)
	ピレスロイド剤	直接噴霧することで殺虫効果 全体噴霧ではなく、ハエがとまっている所をスポット的に散布	壁、窓枠、網戸、柱等

積極的に効率的な対策を実施して、ハエの少ない農場にしましょう！！



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生日月
高病原性 鳥インフルエンザ	H5N5	台湾(10件)	家禽	7月23日～8月15日
	H5N8	ロシア(2件)	鶏・ガチョウ・アヒル	7月28日
	H5	ロシア(1件)	家禽	8月11日
ASF		韓国(38件)	野生イノシシ	7月31日～8月25日
		ロシア(63件)	豚・野生イノシシ	7月7日～8月26日
		ウクライナ(5件)	豚	8月3日～8月22日

令和2年(2020年)8月31日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

